全引連ニュース
旅立ち
引きこもり
NPO法人（内閣府認証）全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）代表 奥山 雅久
第50号 発行日 平成21年5月3日 〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町1-3-3
（隔月発刊）FAX 048-758-5705 ホームページ http://www.khj-h.com

厚労省 今４月に

〈来年の引きこもりへのガイドライン通知へ向け〉

引きこもりガイドライン案（暫定版）

関係機関へ通知される！

「思春期ひきこもりに対する評価・援助（精神医学的援助システム）のためのガイドライン（案）」目次第２面へ

引きこもり・ニート対策 法案

３月６日国会に上程される

政府 **国会**

青少年総合対推進新法案・国会へ上程

政府、同推進本部設置へ（内閣総理大臣が本部長で）

■「引きこもりへの国家的対策始まりだす。家族、当事者はこれを生かしてゆこう！」

引きこもりへの厚労省の施策や、内閣府主導での青少年総合対策推進（法案）の国会への上程、内閣総理大臣を本部長とする同推進本部の設置へと、いよいよ正念場となって参りました。

今後数年、引きこもり案件への厚労省からの包括的（総合）施策や、内閣府主導での青少年総合対策推進本部（法）の云わば国家的プロジェクトが国会通過後１年以内に、予算を伴う様々な施策として打ち出されて来るでありましょう。

一方、この４月初旬には、引きこもりへの法案への（あるいは）因って立つ根拠と成り得る厚労省の委託研究事業の斎藤万比古班の研究２年度目「思春期ひきこもり評価と支援のためのガイドラインのドラフト版」が、当会を含む関係機関へ来期のガイドライン発表へ向けて打診的に発表されました。

すでに全引連ＫＨＪ調査部会には、このドラフト版（３４９ページ）が送付され、通読され、**「抑制の効いた中でも広範な視野で検討されており、臨床実態や国際標準にも照らして、大きな進歩であると評価しております。法的フレームを考える上での因って立つ根拠がかなり明確になったと感じております。」との論評報告が本部へ参っております。**

関係各位には、この国のメンタルヘルスケアーが、国家的取組みとして抜本的に前進しようとしている今、是非ともこの流れを支持推進し、後戻りさせないことが喫緊の重要課題と存じます。（今までも、従来の勢力が後戻りさせる意見活動がされてきてしまった）その上で、様々な予算を伴う施作支援、専門家の養成（適切な医療、中間施設、福祉など）が官民協働で暫時推進されて行くでありましょう。

皆さまには、このこと格別のご注視の上、重要課題として全国の家族が一丸となり支持推進して参りたく存じます。宜しくお願い致します。

全引連ＫＨＪ本部代表　奥山雅久

引きこもりへのこの一連の内閣府、国会の〔・青少年総合対策推進法（案）・同本部設置〕や厚労省の〔・包括的支援、新ガイドライン〕の動きに全国の家族（会）は、これを支持、推進して行こう！

３月７日産経新聞　他、読売新聞、日経新聞等

ニート引きこもりの支援法案を閣議決定

2009.3.6 11:33

Copyright 2009 The Sankei Shimbun & Sankei Digital

政府は６日午前の閣議で、ニートや自宅に引きこもる青少年が自立できるよう官民が連携して支援していく枠組みを定めた「青少年総合対策推進法案」を決定した。同日中に国会に提出する。

自立に困難を抱える青少年を支援するため地方自治体は「地域協議会」を設立し、教育委員会や福祉事務所、ハローワークなどの公的機関や民間非営利団体（NPO）、企業などが参加する。協議会は青少年が抱える問題に合わせて支援内容を検討、家庭訪問や医療、技能習得による支援を通じて自立を図っていく。

国は首相を本部長とした「青少年総合対策推進本部」を置き、政策の大綱を策定し、協議会が行う支援策を総合調整できる人材を育成するための研修制度やマニュアルも整備する。

© 2009 Microsoft

ニート引きこもりの支援法案を閣議決定 - MSN 産経ニュース 1/1 ページ
http://sankei.jp.msn.com/politics/policy/090306/plc0903061134008-c.htm

本機関誌は、全会員及び、関係国会議員、厚生労働省、文部科学省、地方自治体の担当課、更にマスメディア、専門家やその他の関係者に配布送付されます。

〔好評につき今期21年度も第4次募集〕
過去3年間で約30都府県の地区会で開催、
再開催希望の地区会を含め募集致します

再受付〔月例会講師の紹介〕

全国地区会へ講師医師の派遣事業

引きこもり者の多くに内在合併している。

（ＳＡＤ社会不安障害（恐怖）の対応
臨床医師を月例会講師として派遣）

- 講師謝礼金は基本的にKHJ本部負担
- **申込はKHJ本部へ** FAX 048-758-5705
（2～3ヶ月先の月例会、日時、会場を確定してお申込み下さい、講師の地元SAD臨床医師は本部で紹介致します）

全引連KHJ設立10周年記念事業

ひきこもり支援相談士養成〔通信〕講座 合格者：認定証発行

■動き出して来た国の施策に沿うべく、当会等が主宰の「引きこもり支援士養成講座」は、4月、毎日新聞、読売新聞等の全国版で紹介され現在お問合せや申し込が相次いでおります。
願得るなら、引きこもりの実態と実感をより多く深く識っている各地区会員の皆さまには是非とも積極的にご参加頂きたく存じます。
〔その意味で受講料は会員特典として1万円の値戻しをさせて頂いております。
（5千円を本人に、5千円を所属会への折半で）〕
本養成講座は、受講者自身が開始してから6ヶ月内に問題集に回答送付され、合格基準に達した時、合格認定証が発行される仕組みです。

〈講座形式〉
・教材一式（教本、資料、問題集で4冊・教本対応DVD全3巻）
・受講開始から6ヶ月以内に問題集を回答送付（教材にて自宅学習方式）

〈お問合せ・申し込方法〉
ホームページ :http://www.khj-hsc.org/ TEL 0123-42-0500
＊当会会員はお申込の際、所属地区会（本部直送会員は本部）を伝言か明記してください。
会員の皆さんのより正確な学習の為にもご活用くださいますように。

一般社団法人 ひきこもり支援相談士認定協議会
構成:NPO法人全国引きこもりKHJ親の会・NPO法人次世代育成ネットワーク機構

引きこもりガイドライン案（暫定版）349頁の目次の抜粋

厚生労働省は傘下の国立機関に委託し、いわゆる「ひきこもり」問題についての研究を3ヵ年計画で推進されており、今平成21年度は最終年度になります。昨年11月の全引連KHJ親の会の全国大会（広島）で厚生労働省のご来賓が予告されたように、第2年度成果として「思春期ひきこもりに対する評価・援助のためのガイドライン（案）」がこの4月はじめに開示されました。国公立の研究機関や大学、県立の精神保健福祉センターなどから総計86名の専門家が参加され、大変に広範な専門的検討がなされました。その成果冊子は全349頁に及ぶ大冊であり、部数限定的と思われるので、直ちに紹介は容易ではありません。

KHJ親の会本部は各地区会に対してはブロック幹事会に資料冊子を優先配布し、全国地区会の評価や現場実態を踏まえた前向きな提言をまとめる方向の活動が必要と思います。それらを一年後に最終公示予定のガイドラインに有効に反映して頂くべくKHJ会員や支援者の協力が期待されます。

その要部を紹介します。精神医学的側面、援助システム的側面のそれぞれについて調査・研究がなされていますが、ここでは新規性が高いと思われる精神医学的側面についての内容を重点的に紹介します。

KHJ調査部会

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

厚生労働省科学研究費補助金／こころの健康科学研究事業〈思春期のひきこもりをもたらす精神科疾患の実態把握と精神医学的治療・援助システムの構築に関する研究〉

Ⅰ．総括報告：主任研究者斉藤万比古国立国際医療センター国府台病院

〈研究要旨〉

本研究は10代を中心とする「思春期ひきこもり（ひきこもり状態の顕著な不登校を含む）」を対象とし、その実態把握とともに、思春期ひきこもり事例に対する医療的治療と社会的支援を包括した援助システムを開発することを目指すものである。二年目となった今年度の研究により、思春期ひきこもりの実態はかなり明確になってきており、支援方法の検討も進んできた。「思春期ひきこもりに対する評価・援助のためのガイドライン」は研究班全体で取り組み、ドラフト版を作成した。次年度さらに実態および支援に関する研究を発展させるとともに、ガイドラインのドラフト版を関係諸機関に配布し、意見を聴取した後、完成版を作成する。

Ⅱ．主任研究ワーキング・グループ研究報告・・・・〈内容紹介省略〉

NPO／NGOを対象とした不登校・ひきこもり事例の対応に関する全国調査
・・・主任研究者斉藤万比古国立国際医療センター、他

Ⅲ．分担研究報告：・・・〈内容紹介省略〉

①：精神科急性期医療におけるひきこもり青年の実態と精神医学的治療に関する研究
・・・中島豊・岡山県精神医療センター、他

②：ひきこもりを呈する青年の地域生活支援プログラムに関する研究
・・・伊藤順一郎国立精神・神経センター精神保健研究所、他

③：思春期青年のひきこもり親ガイダンス・ガイドライン
・・・皆川那直法政大学大学院人間社会研究科、他

④：中学生・高校生に見出される不登校・ひきこもりの実態把握に関する研究
・・・広中正美法政大学心理臨床センター、他

⑤：思春期ひきこもりにおける精神医学的障害の実態把握に関する研究
・・・近藤直司山梨県精神保健福祉センター、他

⑥：大学生に見出されるひきこもりの精神医学的な実態把握と援助に関する研究
・・・水田一郎神戸女学院大学、他

⑦：思春期ひきこもりと反社会的問題行動－ひきこもり概念の再検討
・・・奥村雄介府中刑務所、他

⑧：地域連携システムによるひきこもり支援と疫学的検討
・・・清田晃生大分大学医学部小児科、他

⑨：児童期・前思春期のひきこもりに対する精神医学的治療・援助に関する研究
・・・渡部京太国立国際医療センター、他

⑩：ひきこもり青年の就労支援に関する研究
・・・原田豊鳥取県精神保健福祉センター、他

⑪：後期思春期・早期成人期のひきこもりに対する精神医学的治療・援助に関する研究
・・・斉藤環爽風会佐々木病院、他

⑫：ひきこもり者の疫学調査可能性の検討
・・・樋口逸子順天堂大学医学部、他

Ⅳ．思春期ひきこもりに対する評価・援助のためのガイドライン（案）：
・・・〈特に、概念と定義、精神医学的側面は下位項目まで紹介。その他は大項目のみ〉

ライラの畑で、一日農業体験をしてみよう！
farmer 募集（就農支援）
ALPHLYLA
http://alphlyla.jp/orange/style/pg173.html

沖縄県
若者自立塾
社団法人 日本青少年育成協会
http://www.jyda.jp/

「大検」は「高卒認定」に進化！
ひきこもりでも自宅からウェブ学習で
1年以内に高卒資格が取得できます！
高認スーパーゲットコース
第一高等学院 www.daiichikoto.net

官民協働の一例・・・KHJ 本部 ＋ KHJ 埼玉の取組み

☆埼玉県から KHJ 本部・KHJ 埼玉けやきの会への委託事業の報告文

平成 20 年度事業報告書から（埼玉県疾病対策課宛）の抜粋

裏面第４面に続く

多様な引きこもりへの訪問サポートを有機的メニューで実践

・月例会・学習会・家族教室・合同相談会・訪問サポート・居場所・就労支援

引きこもりは百人百様であり、病理性の有無、当事者のパーソナリティー、履歴の長短、家族機能力、親子共依存性など様々な要件が重なっている。

このためその対応は難解で、ことに「訪問サポート」=（内閣府が打出しているアウトリーチ）となれば、ほとんど誰も訪れない当該家庭へ入って行くこととなる難しい面もある。従って、引きこもり対応やその訪問サポート者には、引きこもり全般に亘る基礎的知識（病理性等も含む）や予備知識はもとよりその対応スキルや経験が必須であり、さらに冷静で温かな心と粘り強い情熱が求められるところである。

当会では、この 10 年で多くの当該ケースに対応して来たなか、組織として自然発生的に以下の様な事業メニューを有機的に連携して対応し、家庭環境を整え、その上で必要があれば、そのタイミングをみながら訪問サポートへと繋げている。

学習会（家族向け）

医師＋スタッフによる家族合同相談会

若者奉仕活動（社会参加）

・**月例会**：問合せ当該家族の受付、個別相談、総体的学習、家族の安心感と落着き、様々な事例のなかで固有の該当ケースの認識、家族同士の支え合いと励まし。
医療機関、公的相談機関や民間施設、サポート校、グループホーム、社会参加等の情報の提供など。

・**学習会**：専門家、元当事者、元家族、支援者、識者などを講師に、主に当該親の内省力を促していく勉強会。家族の取組む意欲、主体性の醸成、人生観の視野の拡大。（一部当事者も参加）ステップアップ率約６割

・**合同相談会**：引きこもり外来医師と支援スタッフ数人で、相談家族毎に個別相談を受け、事例毎に病理性の有無、種別を把握、スタッフからのアドバイス意見で対処ビジョンの模索、方針を出していく。これを参加者全員が共有する。ステップアップ率約６割

・**家族教室**：当該家族を対象に個別ケース毎に吟味、参加者皆でケース毎にアイディヤを出し合い次回にその実践結果を報告、これを繰り返していく。良い対処例を参加者全員が共有していく。家族意識条件が整えば訪問サポートに繋げていく。ステップアップ率約６割

・**若者の居場所**：上記メニュウー等で参加して来た引きこもり当事者の中間施設としての居場所。仲間同士の懇談、スポーツ、料理、娯楽等で対人関係の回復等の群体験体現。

・**就労（社会参加）支援**：神社、公園等の清掃奉仕や機関紙、会報の発送作業等の共同作業を通じ所作の回復、運動能力の改善を図る。希望当事者には、「若者サポートステーション」や専修作業所、職親企業を紹介スタッフが同行する。

以上、主に６つのメニュウーを有機的に繋ぎ、引きこもり当該家族に対応対処し、訪問サポートの要件を整えて（心理面や疾病、障害面で井戸深く落込んでいる当事者を親が冷静に認知内省）から訪問サポートしなければ、家族機能不全、親子共依存に陥っている多くの引きこもり家族では、訪問サポートに当事者は抵抗、拒否するだけでなく、訪問サポート後親に荒がうこととなりやすく、益々こころの井戸に深く潜っていくこととなる。

不登校・ひきこもりの方も安心

ウィザス高校の特長
◆インターネットを利用した学習支援システム
◆心のふれあいを大切にした教育を実践
◆スクールカウンセラーによるメンタル面のケアも充実

ウィザス高等学校
WITHUS HIGH SCHOOL ［広域通信・単位制］
0120-130-530 茨城県高萩市 赤浜2086-1（本校）
全国各地に49のキャンパス［学習センター］があるので、どこからでも入学することができます。（平成21年4月現在）
～ウィザス高校の詳しい内容はホームページで～
http://www.with-us.ed.jp

社会不安障害総合情報サイト
SADとは"Social Anxiety Disorder"の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことです。

SAD NET

人前で話したり、食べたり、、書いたりしようとすると、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

・おおよその SAD（社会不安障害）をチェック可
・どこへ行けば治療して貰えるの？
全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

社会不安障害の総合情報サイト
URL：http://www.sad-net.jp/

会員・関係各位様
年会費・協賛金 納入のご案内

NPO 法人全国引きこもり KHJ 親の会本部

・年会費
・協賛金
の納入のご案内　一口 3,000 円
（平成 21 年４月～ 22 年３月まで）分

〈送金お振込先〉❶ 同封の払込取扱票（郵便局で）
❷ 銀行振込 埼玉りそな銀行（七里（ななさと）支店）普通預金、口座 3749884 引きこもり KHJ 親の会 代表 奥山（おくやま） 雅久（まさひさ）
❸ 現金書留
〒 339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町 1-3-3　奥山 雅久

ひきこもりサポートナビ

当会の共同主宰ひきこもりサポートナビ（主宰の㈱シンクプロジェクト）が主要メディアで紹介され会員が急増中。

URL：www. hikikomori - navi. com

FAX 048(758)5705

ルポ「ひきこもり」価格８００円

行き詰まり、混迷を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。

推薦のことば　精神科医・医学博士　中垣内正和

FAX ０４８（７５８）５７０５

無　料
引きこもり電話相談
☎ 03-5319-1430
火・木・土 PM1:00～5:00
第４土曜・祭日休み
KHJ東 東京「楽の会」

第3面の続き

☆学習会で親の内省力、対応スキル、主体性を高める

～第３ラウンド～　ＫＨＪさいたま・けやきの会学習会

～大好評につき初心の方も長期の方も若者達もどうぞ～

５年10年と長引くほど親は焦燥感と絶望感にさいなまれます。しかし、子はそれ以上に深い闇のような苦しみの海に溺れ漂いながら、それでも差し伸べてくれる手を求めています。とはいえ回復へのマニュアルはありません。学びの中で各ご家庭に合う方法を、おやごさんが主体性をもって会得しましょう。親の力量と家族の再生と子の復活はすべて正比例します。

学習会《　ひきこもり回復　プログラム　》

4/15	（水）	祝「くそばばあ」と言われたら	常盤公民館　資料室
5/20	（水）	実は子が親を見守っていた	常盤公民館　資料室
6/14	（日）	心理学≠社会常識	東大宮コミュセン
6/17	（水）	訪問サポートと転地療養編	常盤公民館
7/15	（水）	トラブルに込められた意味	常盤公民館
8/2	（日）	閉じこもり状態の対応	岩槻駅前 WATSU ワッツ
8/19	（水）	呼吸法でリラックス（自律訓練法）	常盤公民館
9/16	（水）	なぜ止まらない暴言・暴力・無理な要求	常盤公民館
10/4	（日）	心配より信頼・そして本人の気づきへ	岩槻駅前 WATSU ワッツ
10/21	（水）	強迫症状とうつと躁状態での工夫	常盤公民館
11/18	（水）	親父の内省	常盤公民館
12/6	（日）	重篤者とつき合ってきた小西流問答	岩槻駅前 WATSU ワッツ

会場・時間　・日曜日・・東大宮コミュニティセンターまたは岩槻駅前ワッツ（月例会場）午後１時
　　・水曜日・・・常盤公民館(浦和ふれあい館の隣)　午後６時１０分より８時４０分
講師　大河原康雄・石川清・内藤孝二・藤代寿樹・小西勝之・奥山雅久・谷久子
　　池田佳世・桝田宏子・藤江幹子・高橋晋・高橋弘子・境泉洋・他
費用：日曜日・・月例会参加費１０００円に含む　水曜日・・１５００円(一家族)　若者無料
問合せ　田口 048-651-7353　080-3176-6674 西塚 090-2564-3134

引きこもりKHJ兄弟姉妹の会の問合せ先
引きこもりKHJ兄弟姉妹の会
代表発起人 安下 真一　FAX03・5391・6782(安下)
Ｅメール：yasu.1204　@ab.auone-net.jp

☆学習会を導入、検討の地区会へは本部から相談に応じます。

KHJ family 月例会に参加して気を楽にしたり情報交換しませんか

特定非営利活動法人（内閣府認証）全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）

☆親の会（月例会）問い合わせ先（北海道～沖縄）

42 支部 6,620 家族と 14 の準地区会で 8,130 家族

☆各サークルの月例会（月１回）の役割　○同じ境遇の親同志での心おきない話し会い。自分達だけが引きこもり（すがり付、とり付）で苦しんでいるのではない、仲間が居るのだという実感。孤立感からの脱却→親の心の癒し→本人の言いつくせぬ気持（心）に対応でき　る良好循環へ　○問題に対する情報の交換（施設、専門医、カウンセリング、薬等の）○先輩会員の沢山の例を知る今後の自分達のこの問題に対する対応、心構えをつくってゆく
☆引きこもりKHJ親の会の役割　○情報の収集と検証（医療施設、専門機関、専門家、各種行政、マスコミ）○不登校→引きこもり→すがり付→とり付の流れを、早い段階で対応すべく世間に警鐘をならしてゆく
○他県の同じ趣旨の会を立ち上げたり連携をとってゆく→全国組織化○行政の対応や支援、制度化の対応を求めてゆく⇔（社会問題を起こしたり、本人の生涯に渡る永い状況は一家庭の対応を越えている）
○抜本的施設、「若者の居場所」「グループホーム」の設立と公的助成を

○**全引連 KHJ 本部**（全国）　NPO 法人
〒339-0057 さいたま市岩槻区本町 1-3-3 らうんじ内　FAX 048-758-5705　奥山　雅久

○**KHJ 埼玉「けやきの会」**（埼玉県、群馬県）　携帯 080-3176-6674　NPO 法人
〒331-0805 さいたま市北区盆栽町 190-3　TEL・FAX 048-651-7353　田口ゆりえ

○**KHJ 東東京「楽の会」**（東京都、）
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4　TEL 03-3918-0655　FAX 03-3918-7873　池田　佳世

○**KHJ 西東京「萌の会」**（東京都、）
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 1-19-4　FAX 03-5397-5372　井手　登　井手　宏

○**グループ コスモス**（東京都等）　TEL・FAX 03-3728-4488
〒145-0066 東京都大田区南雪谷 2-11-5　石尾　瑛子

○**KHJ 東海なでしこの会**（愛知県、三重県、岐阜県等）　NPO 法人
〒483-8337 愛知県江南市藤ヶ丘 4-1-1 江南団地 78-106　FAX 0587-52-4511　伊藤　進

○**名古屋オレンジの会**（愛知県、三重県、岐阜県、近隣県）　NPO 法人
〒453-0015 名古屋市中村区椿町 19-7 チサンマンション椿町 304　TEL・FAX 052-459-5116　鈴木美登里

○**KHJ 北陸会**（石川県、福井県）例会会場 石川県金沢市県立女性センター
〒924-0024 石川県白山市北安田町 1381　事　務　局

○**とやま大地の会**　TEL 090-3768-1733・FAX 076-429-5886
〒939-2455 富山県富山市八尾町大玉生秋「野良里」内　井波　純子

○**京都オレンジの会**（京都府、奈良県、等）TEL・FAX 075-752-0189　NPO 法人
〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東六丁目分木町 74-3（2F）　稲垣　緑

○**KHJ「つばさ友の会」大阪**　TEL・FAX 072-844-0399　（NPO 法人 ISIS 大阪）
〒573-0027　大阪府枚方市大垣内町 1-3-1　マインドビル 1F　事　務　局

○**大阪家族会「虹の会」**
〒592-0002　大坂府高石市羽衣 2-4-20 石神記念医学研究所内　原　治子

○**神戸オレンジの会**（兵庫県、）　NPO 法人
〒652-0805　兵庫県神戸市兵庫区羽坂通 4-2-22　TEL 078-515-8060　松井　勝也

○**情報センターふきのとう姫路**（兵庫県）　TEL 090-5046-7134　FAX 0792-24-5259
〒670-0896　兵庫県姫路市上大野 1-11-6　櫛橋　行雄

○**KHJ 福岡県「楠の会」**（福岡、佐賀、長崎）TEL 090-8222-7403
〒810-0003　福岡県福岡市中央区春吉 1-7-18 タケウチビル 2F　092-731-3091　吉村　文恵

○**KHJ 高知県親の会「やいろ鳥」の会**　TEL・Fax 0887-55-1255
〒781-5205　高知県香美郡野市町みどり野東 1-33　竹中あおい

○**岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会**（岩手県、等）　NPO 法人
〒020-0873　岩手県盛岡市松尾町 19-8　TEL 019-605-8632 FAX 605-8633　三宅　均

○**KHJ 宮崎県「楠の会」**　TEL・FAX 0985(31) 1375
〒880-0001　宮崎県宮崎市橘通り 1-4-3 井上ビル 2F　植田美紀子

○**KHJ 宮城県「タオ」**TEL・FAX 022-293-8355　NPO 法人
〒983-0851　宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡５番　みやぎ NPO プラザ内　佐藤　傑

○**KHJ にいがた「秋桜の会」**TEL　090-4017-2889　NPO 法人
〒950-0167　新潟県新潟市江南区五月町 1-2-9　TEL・FAX　025-382-6912　三膳　克弥

○**KHJ 熊本県「楠の会」**（熊本、佐賀県、長崎県）TEL 096-322-3548　FAX 096-322-3787
〒860-0072　熊本県熊本市花園 7-2435-12　武井　敬蔵

○**KHJ 青森県「アップルの会」**TEL／FAX 0178-88-5297　事務局長
〒039-1212　青森県三戸郡階上町蒼前西 5-9-1634　サンハウス内　川村　克彦

○**KHJ 岡山県「きびの会」**TEL・FAX 086-482-3707 携帯 090-7541-5263　NPO 法人
〒701-0304　岡山県都窪郡早島町早島 1160-1　佐々木正俊

○**KHJ 広島県「もみじの会」**TEL・FAX 082-567-7740（平日 090-8060-0054 前川）
〒732-0056　広島県広島市東区上大須賀町 1-6-701　藤岡　清人

○**KHJ 鹿児島県「楠の会」**TEL・FAX 0993-38-0320　自宅 TEL 0993-38-1421
〒891-0704　鹿児島県揖宿郡頴娃町別府 1243　福留　順一

○**KHJ 静岡県「いっぷく会」**　TEL・FAX 054-245-0766
〒420-0884　静岡県静岡市葵区大岩本町 25-2　中津川舜美

○**KHJ 香川県「オリーブの会」**TEL・FAX　087-843-9877　NPO 法人
〒761-0104　香川県高松市高松町 2574-9　川井　富枝

○**山形県「から・ころセンター」**　TEL／FAX 0238-21-6436　NPO 法人
〒992-0026　山形県米沢市東 2-8-116　伊藤　正俊

○**KHJ 福島県「MHPC」**　TEL 024-943-1678　FAX 024-943-1686
〒963-8813　福島県郡山市芳賀 2-21-10　矢吹　孝志

○**「いばらきの会」**　FAX 0297-42-7751
〒300-2706　茨城県常総市新石下 4503-1　朋友内　菊地　芳明

○**KHJ 北海道「はまなす」**　TEL・FAX　011-631-0981
〒064-0824 北海道札幌市中央区北四条西 26 丁目 3-2　田中　敦

○**KHJ 栃木県「ベリー会」**TEL　090--4247--2829　NPO 法人（申請中）
〒329-1105　栃木県宇都宮市中岡本町 4077　斉藤三枝子

○**KHJ 神奈川県「虹の会」**TEL／FAX　045-823-5464
〒244-0814　神奈川県横浜市戸塚区南舞岡 4-5-16　鈴木　豊年

○**KHJ 徳島県「つばめの会」**　TEL　090-7620-4625　TEL・FAX　0883-24-0507
〒776-0014　徳島県吉野川市鴨島町知恵島 372-6　高橋　浩爾

○**KHJ 千葉県「なの花会」**　TEL 090-8491-0971　NPO 法人
〒267-0055　千葉県千葉市緑区越智町 1701-275　藤江　幹子

○ **秋田県「かだれ会」**　TEL 0185-72-4133　FAX 0185-72-4134
〒018-2303　秋田県山本郡山本町森丘字石倉沢 1-2　長信田の森心療クリニック（暫定）

○**KHJ 山口県「きらら会」**TEL・FAX 0836-88-2681　NPO 法人（申請前）
〒756-0862　山口県山陽小野田市須恵西 2471-1　小林　攻

○**滋賀県「グッドハート」**　TEL 077-561-8759　FAX 077-567-1160　NPO 法人
〒525-0034　滋賀県草津市大路１丁目４番大丸ソイビル 202 号室　加藤 日典子

○**沖縄県**　TEL 098-888-1443　FAX 098-888-1710　兼浜　保佳
〒901-1104　沖縄県南風原町字宮平 212-3　沖縄県精神福祉センター相談課（暫定）

○**KHJ 大分県「大分若者自立支援の会ステップ」**　TEL 090-1163-8582　NPO 法人
〒879-5102　大分県由布市湯布院町川上 3604-14　松本　太郎

○**KHJ 愛媛県「こまどり」の会**　TEL・FAX 089-962-3946
〒791-2133　愛媛県伊予郡砥部町五本松 212　澤田　和廣